

「DX化で会社はこう変わる!」

DX化支援研修サービス

DX Support Training Service

第6弾 ChatGPT業務活用編



会社概要

社名 ティーテクノロジーズ株式会社
代表取締役社長 鈴木 誠

住所 〒372-0011 群馬県伊勢崎市三和町2739-2

設立 2005年8月12日

資本金 1,000万円

URL <https://www.t-technologies.co.jp/>

サービス概要

Service Overview

サービス概要（シリーズコンセプト）

ご提案の概要

「DX化支援研修サービス」シリーズは、DX・生成AI活用を「知る」段階から「現場で使える」段階へ、さらに「組織に定着」する段階まで、段階的に引き上げる研修シリーズです。

各編は単体での導入も可能ですが、シリーズとして導入することで、「スキル習得 → 業務適用 → 組織浸透 → 定着運用」の流れを一気通貫で構築できます。



**DX Support
Training Service**

映像制作編

AI活用実践編

業務効率化編

生成AI社内浸透編

生成AI定着編

ChatGPT業務活用編

サービス概要 (シリーズコンセプト)

このシリーズで実現できること

本シリーズは、生成AIを安全に活用しながら業務を標準化・効率化して生産性を高め、個人の活用に留めず組織全体で再現・定着する運用まで実現します。



現場の生産性向上

業務のムダや手戻りを減らし、
標準化と効率化を実現



生成AIの安全運用

使いどころ・注意点・判断手順を
理解し、リスクを下げて活用



社内展開・定着

活用が一部の人で止まらず、
組織で再現できる運用に落とし込み

サービス概要 (シリーズコンセプト)

こんな法人様に最適な研修内容です

AIは使っているけど、
使いこなせているか不安



主に複数の生成AIの
掛け合わせについて
学びます

最近、業務が忙しくて
他に手が回らなくなってきた



AIを使った業務効率化
で、時間とリソースを
最大化します

現場で使えるAIスキルを
身につけたい



実践的なAIスキルを
短時間で習得し、
即戦力に！

サービス概要（シリーズコンセプト）

当社が選ばれる理由

01 わかりやすい内容構成

共感もてるストーリーの採用により、AI活用のイメージが伝わり、実践で使えます

02 目的別に選べるコース

実務で活かせるスキル習得のため、目的別に最適コースを用意しました

03 直感型LMS

多くの受講者様から直感的で分かりやすいと高く評価されており、安心して利用できます

04 実務で活用できるAIを厳選

数多のAIから実務利用できるAIを厳選。AIの単体利用から掛け合わせた利用方法までを身につけられます

05 本研修のストーリー一部分の特徴

現場の「あるある」をストーリーで追体験し、失敗ポイントと改善の型を自分ごととして理解できる構成です

研修カリキュラム

弊社の研修サービスでは、デジタル・AI技術を業務に活用する方法を学べます。
AIの便利さを実感しながら、簡単に習得し、すぐに実践できるカリキュラムを提供しています。



構成の特長

従来の研修課題

教材の内容が…

- ・ 内容が硬すぎる
- ・ 頭に入ってこない
- ・ 活用シーンを想像できない



当社のDX化支援研修サービス

興味喚起

擬似体験

実体験

発見・想像

飽きやすく実務に活かしにくい研修の課題を解消し、
楽しみながら自然に応用力が身につく構成です。

研修カリキュラム概要：ChatGPT業務活用編

ChatGPT業務活用編（2026年2月リリース！）

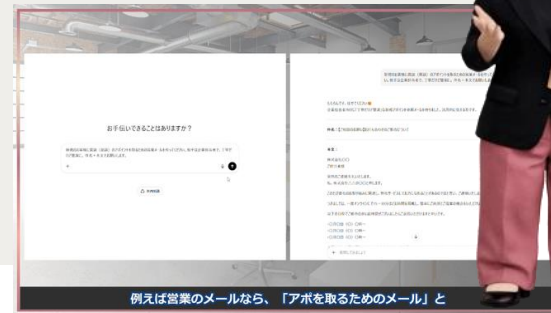
FOCUS IS CHATGPT LEARNING



ありがとうございます。私、ChatGPTに聞くときって、だいたいこうだ
つたんです。



うん、なんとなく分かるよ。プロンプトへ
実際に『何をどう入力するか』だね。



例えば営業のメールなら、「アポを取るためのメール」と

AIの力で課題を解決するストーリー

本教材は、介護現場で起きがちな「記録」「家族説明」「申し送り」「資料作成」「クレーム対応」などを題材にストーリー形式（ケーススタディ）で、ChatGPTの業務活用について学ぶeラーニング教材です。

The image compares two AI approaches. On the left, 'AIワークフロー' (AI Workflow) is described as '人が作ったルールの上を走る' (running on rules made by people), shown as a linear sequence of steps A → B → C. An example given is '申請処理・定型報告書作成等' (application processing, standard report creation, etc.). On the right, 'AIエージェント' (AI Agent) is described as 'ゴールに合わせて動きを変える' (changing movement according to the goal), shown as a path starting from 'Start' and moving towards a target icon. An example given is '問い合わせ対応・個別提案等' (customer inquiry response, individual proposals, etc.). Below the diagrams, it states: 'AIワークフロー：やり方が決まっている業務向け' (AI Workflow: for tasks with fixed methods) and 'AIエージェント：状況を見て考える必要がある業務向け' (AI Agent: for tasks requiring consideration of the situation). A small cartoon character is at the bottom right.

そう、そういう動きをする可能性はある。だからAIの出力には誤りが混ざる前提で、最後は人が確認するのが基本になるよ。

現場を疑似体験できる

ChatGPTの使いどころ・注意点・判断の順番を【現場の状況】としてストーリーで体感できる。

The image shows a screenshot of the ChatGPT interface. A 'メモリ' (Memory) feature is highlighted with a callout box. The callout says: '保存されたメモリを参照する' (Refer to saved memory) and 'ChatGPTが回答するときにメモリを参照して使用することができます。' (ChatGPT can refer to memory when answering and use it). Below this, it says: 'メモリ' (Memory) and '長期的に有用な要点のみを保存し、チャット削除後もメモリとして残る' (Save only long-term useful key points, and remain as memory even after chat deletion). A small cartoon character is at the bottom right.

つまりチャットを消すと、そのチャットのやり取りは見返せなくなるけど、私についての要点がメモリとして残ることはある、ってことですね。

再現できる型が身につく

「よくある場面 → 失敗しやすいポイント → 改善の型」の流れで学び、理解にとどまらず明日から同じ場面で再現できる行動に落とし込める。

The image features a large, stylized logo that reads 'FOCUS CHATGPT LEARNING'. The word 'FOCUS' is in blue, 'CHATGPT' is in white with a blue outline, and 'LEARNING' is in black. Below the logo, the text reads: '他業務にも展開できる' (Can be expanded to other business areas) and '内容は汎用的に設計されているため、介護以外の業務にも適用可能。' (Because the content is designed to be general, it can be applied to business areas other than nursing care).

研修カリキュラム概要：ChatGPT業務活用編

各章で学べるAI

■ 全14章構成
■ 題

■ 標準学習時間：約12時間

■ 全動画 120日間見放

1章	生成AIの全体像（新人アシスタント視点） 生成AIを「指示が必要な新人」と捉え、得意領域（下書き・整理・要約）を理解する
2章	「それっぽいのに間違う」理由 正しさは保証されない前提を学び、点検して仕上げる使い方を身につける
3章	ChatGPTの学習と記録の違い パーソナライズ／メモリ／会話記録を整理し、設定で管理できるようにする
4章	基本操作と段取り 画面操作・履歴整理を押さえ、「たたき台→追加指示→仕上げ」の進め方を習得
5章	画像活用 写真を起点に質問・加工等を行い、問いを立てて成果物につなげる
6章	PDF活用 PDFをアップして必要箇所を抽出し、「読む」から「質問して使う」へ転換する
7章	資料作成のはじめ方 目的・ゴールを言語化し、下書きを整えながら進める型を身につける

8章	音声入力で思考整理 声で未整理の情報を出し、要点整理と次の一手につなげる
9章	GPTsでクレーム対応を型化 感情受容→事実整理→再発防止までを、ロールプレイで反復できるようにする
10章	クイズで定着 クイズ作成・共有で復習を回し、使いながら育てる運用を学ぶ
11章	マークダウンで出力安定 目的・前提・形式を構造化して渡し、抜け漏れ・ブレを減らす
12章	セキュリティ／著作権 プラン・設定の違いを理解し、安全に使う判断軸を持つ
13章	習慣化① 忘却を前提に、日常で使い続ける仕組みを作る
14章	習慣化② 出力を再編集し、AIと自分の役割分担を判断できるようにする

学習管理システム（LMS）について

直感的に操作できるプラットフォーム設計により、スムーズに学習を進められ、受講完了後には修了証明書を発行

直観的に分かりやすいデザイン

ユーザー視点を徹底し、誰にとっても理解しやすいシンプルかつ直観的なデザインを設計している

結果の管理

各受講者の学習進捗および視聴履歴を記録し、CSV形式でのデータ出力に対応している

飛ばし見防止機能付き

学習効果を高めるための飛ばし見防止機能を搭載している



修了証明書



プラットフォーム

サービス料金

実際のサービス料金、助成金の利用や流れについてご説明いたします。



サービス料金（受講料金）

1人：33万円（税別）

AIの利活用に特化した研修を体系的にパッケージ化し、LMS機能（学習管理システム）を有したeラーニング動画形式です。

動画視聴後は日常業務にAIを取り入れて取り組むことが容易となり、貴社の業務効率化を強力にバックアップします。



助成金の流れ

ご契約から助成金入金までの流れ



厚生労働省の「人材開発 支援助成金—事業展開等 リスキリング支援コース の申請が可能です

研修費用の最大75%が助成金として支給される
ため、実質的な費用負担が軽減

※助成金を利用しない場合33万円/人（税別）

【通常の費用】

330,000 円/人

【実際の費用】

研修費用の
最大75%削減可能

-247,500円

82,500 円/人

ご清聴いただき ありがとうございました

貴社のDX化推進のお力になれましたら幸いです